

篠崎文化プラザ 第17回 企画展示

スポーツ天国 江戸川区

都内屈指のスポーツ施設を誇る江戸川区は

大人も子どもも躍動するスポーツ天国。

江戸川区ゆかりのトップアスリートや、身近に楽しめるスポーツを紹介します。



アスリート等身大写真ボード

日本代表(アスリート)・北京五輪大会選手(メダル)・世界選手権(メダル)・世界選手権(メダル)・世界選手権(メダル)

ユニフォーム・用具展示:ボート・ラクロス・スケート など

体験コーナーや体力測定コーナー

★2013年の国体では、区内で競技会が開催されます。

ボート・ラグビーフットボール(少年男子)・スケート(ショートトラック)・ローラースポーツ

ピンバッジコレクション

貴重な東京オリンピック記念ピンなど
複製を展示します

入場無料

2012.6.16(土) ▶ 2012.9.17(月・祝)

主催：江戸川区 篠崎文化プラザ 企画展示実行委員会 協賛：江戸川区 篠崎文化プラザ

協賛：京浜東北線・篠崎駅西口直結 開館時間：9:00～21:30

www.shinozaki-bunkaplaaza.com

しのざき
文化プラザ

しのざき文化プラザ **3F** 企画展示ギャラリー

江戸川区篠崎町 7-20-19 3F TEL.03-3876-9071 (代)
都営新宿線・篠崎駅西口直結 開館時間：9:00～21:30

www.shinozaki-bunkaplaaza.com





スポーツが熱い！ 江戸川区

週末ともなると、運動施設や河川敷に大勢が集い、
スポーツを楽しむ風景があちこちで見られます。

各種競技団体がトレーニング拠点とし、日本や世界に
羽ばたく競技人をも輩出している江戸川区は、まさにスポーツ天国。
豊かな自然や充実した施設が揃っているからこそ、気軽に挑戦できる
そのスポーツ環境や区ゆかりのアスリートをご紹介します。

声を響かせ汗を流すひとときは、健康や体力づくりだけでなく、
仲間や地域との結びつきを高めてくれる活力になります。

ロンドン・オリンピック&パラリンピックが今夏開幕し、
来年は国民体育大会「スポーツ祭東京2013」がひかえている今。
スポーツの持つ力や感動を、あらためて一緒に感じてみませんか。



新たなスポーツ施設誕生

※昭和21（1946）年
平成21（2009）年、江戸川区の東に江戸川臨海公園のスポーツ施設、東江戸川臨海公園がオープンしました。江戸川に面して西へ伸びる敷地内に人工芝の多目的運動場「フットボール場」、多目的運動場、プール、テニスコート、壁面利用等一帯にわたって、新たなスポーツ施設が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。



スポーツ公園整備計画

※昭和20（1945）年
昭和20（1945）年、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。



区内施設を舞台に競技大会を開催

※昭和20（1945）年
昭和20（1945）年、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。



一選手によるスポーツ教室開催

※昭和20（1945）年
昭和20（1945）年、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。



広がる「人の形、リズムの輪」

※昭和20（1945）年
昭和20（1945）年、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。



区内施設のスポーツ施設整備計画

※昭和20（1945）年
昭和20（1945）年、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。

オリンピックの聖火、届け届け

※昭和20（1945）年
昭和20（1945）年、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。



2009

1985

1984

1983

1980

1970~1989

1964

1958

1953~1960

1946~1948

毎年1万人以上の
訪客にスポーツを
楽しんでいます。

毎年1万人以上の訪客にスポーツを楽しんでいます。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。



毎年1万人以上の訪客にスポーツを楽しんでいます。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。



都市を潤した名建築家建築

※昭和20（1945）年
昭和20（1945）年、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。

江戸川、中川に遊歩道オープン

※昭和20（1945）年
昭和20（1945）年、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。

スポーツ施設の整備

※昭和20（1945）年
昭和20（1945）年、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。また、江戸川臨海公園の東側に江戸川臨海公園が誕生しています。

水辺に親しみ、心身を鍛える！ ボート競技に挑む人々を 江戸川区ボート協会が応援しています

7つの川に囲まれた江戸川区。その豊かな水辺や川に、もっと親しみ触れ合える機会を作ろうと2001年に設立された江戸川区ボート協会では、ふれあいボート教室(4～10月の第1土曜)やジュニアローイング講座(毎年2月より)などを開催しています。また通常のスポーツ講座として毎週末練習するジュニア会員は、日本ボート協会が主催する公式レースや地域・大学・団体のレースにも参加、出場しています。

水辺環境が素晴らしい江戸川区の生涯スポーツに！

「近年は新しいボートも加わり、練習にもさらに熱が入るようになりました。Q日には来年度の団体の有力候補が3人もいますよ。旧中川を上っていくと、野鳥が数多く生息する。豊かな水辺環境が広がっています。それを川の上という少し違った角度から見ることで、自然を大切にしようという心も育まれると思います。子どもたちだけでなく、大人の生涯スポーツとしてももっとボートに親しんでほしいと願っています」。

江戸川区ボート協会会長 行木隆一さん



江戸川区ボート協会ジュニアチーム

スポーツを通じて人は成長することを実感しているから

「コーチになったのは私自身、スポーツを通じて人は成長することを実感していたからです。ボートは、すごくシンプルで、「漕ぐ」という動作しかありません。そういう意味では誰もが馴染みやすいスポーツです。その中で結果を目の当たりにしながら、自分で考え、自分で決めて動く、自主性を身に付けてほしいと思っています。現在、私が見ている9人の中学生も、最近ではボートの上で自ら声を掛け合うようになりましたよ」。

江戸川区ボート協会ジュニア強化コーチ 立石亮さん



行木隆一さん(右)と
ジュニア強化コーチ 立石亮さん(左)



ローイングマシンでトレーニングに励むジュニアメンバー



●ふれあいボート教室「第1土曜日はボートの日」

4月～10月までの第1土曜日に開催中！

7/7、8/4、9/1、10/8 9:00～14:00

どなたでも参加できます。

※申込先：江戸川区ボート協会事務局・鈴木さん 03-3681-4808



江戸川区旧中川の水辺から パラリンピックにチャレンジしよう！

「ご存知でしたか、旧中川は江戸川区ボート協会管轄の、都内では唯一の障がい者ボートの練習コースです。協会では多くの仲間の練習をサポートしています。旧中川ボート艇庫に障がい者用ボートを保管し、コンスタントなトレーニングが可能です。また、コース脇までのアプローチも整備され車椅子などの移動も楽々、安心・安全の練習環境です。

練習参加の仲間たちと、その指導者とともに区ボート協会の会員でもあり、指導コーチは各大学のOB、医科学、医療、国際大会に精通したスペシャリスト。サポーター共々障がい者スポーツ協会ライセンス取得者が補助。練習指導は日本アダプティブローイング協会(NPO法人)が実施しています」。

日本アダプティブローイング協会・理事 青木松宏さん



2010 広州アジアパラ競技大会・金メダリストたち



銅メダル獲得者(2010 広州アジアパラ競技大会)

※問い合わせ先

特定非営利活動法人(NPO) 日本アダプティブローイング協会

〒103-0007 東京都中央区日本橋本町3-2B-10

電話: 03-6912-4300 FAX: 03-6912-4301

jab@jab.jp

23区唯一の区営スケートリンクから世界へ!

スケート



東京都 東京都 東京都 東京都
スポーツ祭東京2013

江戸川区スポーツランドは
ショートトラック会場です(1月26日~2月1日)

スピード感あふれるショートトラックをぜひ見に来てください

「20名のオリンピック選手を育ててきた私のチームは、現在もナショナルチームのメンバーを含め、スポーツランドで数多くトレーニングをさせてもらっています。東京都下のスケートリンクの中でも氷上コンディションに優れたここは、スピードが出るだけでなく、マットなど設備が整っていて、安全に練習できるからです。国体では時速50kmにも及ぶその迫力あるスポーツを区民の皆さんにも大に堪能してほしいと思っています。」



日本スケート連盟
強化部長 稲原祥史さん

ショートトラックは30×60mの室内リンクに設けられた1周111.12mのトラックで行うスピードスケート競技です。国体には男女とも500mと1000mの競技があり、4人1組で跳びリレー競技は成人男子5000m、成年女子3000mで競います。着順上位1位2位が勝ち上がるエリミネーション方式の競技で、速いスピードでめまぐるしく周回を重ねるレース中は、抜きつ抜かれたりの過激さが醍醐味です。1992年のアルベールビル・オリンピックから正式種目に採用されています。

●江戸川区アイススケート連盟

スピード、フィギュア、少年アイスホッケー、成人アイスホッケーの4部門で構成される江戸川区アイススケート連盟は、江戸川区スポーツランドを拠点とし、技術の向上を目指し練習や試合を行っています。スポーツランドでは、初心者向けの教室や親子教室など、各種スケート教室を開催しています。



※江戸川区スポーツランドはリンクのみ改修工事のため
6月1日から12月中旬までお休みとなります。
この夏はプールも閉鎖となります。



江戸川区出身の 国体有力候補! 柴崎幹汰・蓮兄弟

「スケート教室でスケートが好きになり、スポーツランドで全日本クラスの練習風景を見ていたら、稲原コーチのもとで練習するチャンスももらえました。来年は絶対、国体に出場するぞ!」



ラクロスのまち、江戸川区



日本初の開催となった第3回 ILF 男子 19 歳以下世界選手権大会は 1996 年、江戸川区陸上競技場（エドリック）で行われました。



1997 年には、第 5 回 IFLA 女子ワールドカップが日本で初めて、エドリックで開催されました。



写真提供：日本ラクロス協会 写真撮影：高橋秀典

目指せエドリック！江戸川区陸上競技場

1990 年より江戸川区がラクロスを応援することになったのは区長に届いた一通の手紙がきっかけでした。墨海町に暮らしていたひとりの女子大生が江戸川区陸上競技場でラクロスをやらせてほしいと手紙で区長に伝えたのです。当時、新興スポーツであったラクロスは、練習場や試合会場が確保できないことが悩みでした。女子大生から直接話を聞いた区長は、その熱意に打たれ、ラクロスへの支援を約束。以来、毎年海外チームを招き国際親善試合を開催するなど、大きな大会が陸上競技場で開かれるようになりました。学生とクラブチームのすべての頂点が決まる、全日本選手権の決勝は陸上競技場が舞台となることから、ラクロスプレイヤーの間では「目指せエドリック！」が合い言葉になっています。

ラクロスは、クロスと呼ばれる先端に網のついた棒、直径 8 cm のボールを奪い合い、相手ゴールに入れて得点を競うスポーツです。ハードなボディアタックが炸裂し、男子ではシュートするボールが時速 150 km にも及ぶ、その競技は「フィールドの格闘技」とも呼ばれ迫力満点です。男子と女子ではルールが異なり男子 10 人、女子 12 人で戦います。発祥は北米の先住民が行っていた神事のようなゲームを、フランス移民がスポーツ化したとされ、日本では 1986 年に慶應義塾大学に男子チームが誕生したのが始まりです。その後競技人口は着実に増え、現在は大学をはじめ全国で約 18,000 人がラクロスを楽しんでいるといわれています。



北米の先住民が使っていた道具が、俗名の持つ杖=Crosse に似ていたことから、ラクロス (La-Crosse) と呼ぶようになったといわれています。

写真提供：日本ラクロス協会

陸上

町の同好会が強豪クラブに!

ジャック・ジュニア・アスレチック・クラブ

清新JAC

清新 JAC のスローガン



●清新 JAC

プロフィール：清瀬町をベースにした小中学生とその保護者のための陸上競技クラブです。監督一家に、清新三小の友だちとその家族が加わり、数家族で週末ランニングを行うようになったのが始まり。約1ヶ月で参加者が50名ほどに膨らみ、市民マラソンの親子の部に参戦するようになると上位を独占するようになり、清新 JAC (Junior Athletic Club) として組織化されました。創部は1999年夏。江戸川陸上競技場での練習や県庁での合宿により、全日本中学校陸上競技選手権大会やジュニアオリンピック陸上競技大会でチャンピオンを輩出するなど、近年は強豪クラブとして成長。早稲田大学在学中の天谷優選手など現役駅伝にクラブのOBが3名出場しています。現在部員数は約100名。



楽しいだけじゃない、面白い陸上をしてほしい

「小中学生ともに都大会から全国大会へ、出場することを目指し練習しています。同じやるなら楽しむに加え、競技成績が上がりやって面白く感じる陸上をやってほしいんです。江戸川区陸上競技場や荒川土手、葛西臨海公園など、江戸川区にはいくらかでも走る場所

があり、練習を継続できることが、速い選手を生む理由だと思います。保護者や中学校など地域が非常に協力的であることも、選手が育つ大きな要因です。我々指導者の情熱がこうした地域性と結びつき、クラブの選手育成が上手くいっているのだと感謝しています」。



清新 JAC 監督 原中康生さん



やる気スイッチを入れるのが、僕ら指導者

「2009年より、東京都世田谷区のスポーツガーデンで、近所の子供たちを中心にサッカーを指導しています。僕は江戸川区でサッカーを知り、サッカーに憧れた僕、フットサルに出会い、Fリーグというトップリーグを知りました。サッカーとフットサルは似て異なるところがありますが、コートが狭く人数が少ないことからボールに触れる機会が多く生じられ、ミスしても簡単にできるチャンスがすぐにもたがえることが魅力です。そんなフットサルの面白さを、僕でなくても地域の子どもたちにも伝えたいと活動しています。練習すれば上手くなりますが、指導者として子どもたちに伝えられることは多くないと思います。ただ、痛むのが楽しい、ゴールが嬉しい、勝てて嬉しい、彼らのやる気スイッチを入れるのが僕らの指導者と考えています。指導者のフットサル専用コートである数多体育館などで、ゼロ〜横にフットサルをしましょう。」



江戸川区フットサル協会 江戸川フットサルアカデミー
スクールマスター 高野紀太郎さん
「東京都、Fリーグ「フットサル」大会」西東京の代表として
※本会のスポーツガーデンと数多体育館にてフットサル教室を開催中
「江戸川フットサルアカデミー」

03-6663-9038 info@edogawa-futsal-academy.com

「フットサル」は、サッカーを小さくスペイン語の「fútbol」と発音するポルトガル語の「futebol」が由来で、ヨーロッパや南米でよく知られている。二つの違いはコートと人数。FIFA（国際サッカー連盟）が定めるサッカーと異なり、数多体育館内の人工芝で行われる人数の少ないサッカーで、狭いコートにできるためボールに近づくことができ、ボールの扱いが楽です。2007年10月には日本フットサルリーグ（Fリーグ）も開幕し、レベルが上がっています。

フットサル



たにもと あゆみ

谷本歩実コーチ

五輪二大会連続オール 一本勝ちの金メダリスト

「江戸川区の人たちは温かくって優しくって、みんなに応援してもらい、私は金メダルを取ることができました。柔道を通して感謝の心や仲間のありがたさを知り、私は成長できました。柔道は武道の心が本質にある、人間形成の場です。子どもたちだけでなく、生涯スポーツのひとつとして大勢に親しんでもらえるよう、これからも私は柔道の本質を伝える指導者として歩んでいきたいと思っています」。

●プロフィール：1981年生まれ。
身長158cm 愛知県出身の柔道家。
西葛西在住中の2004年アテネオリンピック、2008年北京オリンピックの柔道女子63kg級で、柔道史上初の五輪二大会連続オール一本勝ちによる金メダルを獲得。
2010年引退後は、コマツ女子柔道部コーチとして活躍。





えびはら

海老原めぐみ選手

女子ラグビーの新戦力

「元バレーボール選手の同僚、藤崎朱里選手に誘われてラグビーに転向しました。初めはタックルなんて無理って思ったけど、やってみると面白かったんですね。ワンフォーオール・オールフォーワンのガチンコ勝負がサイコーに気持ちいいんです。練習は主に江戸川河川敷のグラウンドで行っています。ここでもっと練習して、早くみんなに追いつき、追い越して、オリンピックに出場したいです!」。

●プロフィール：1985年生まれ。身長178cm 茨城県出身
現在江戸川区在住。高校卒業後、Vリーグの日立佐和リヴァーレ、大野石油オイラーズで活躍した元バレーボール選手。今



年は「東京セブンス 2012」の国内女子選抜メンバーに選ばれるなど、Rugirl-7で練習を積みながら、オリンピック出場を目指しています。



ラグビー ●Rugirl-7

ラグビーのオリンピック出場選手を育成するため、各競技からも精鋭アスリートを集め、2010年に発足した国内初の女子7人制ラグビーチーム。